

○ 有松まちづくりの会

①重伝建保存地区の選定をうけて（服部 豊 会長）

初夏の新緑が一段と輝き、町並みも輝いて参りました。

5月20日、文化庁より重伝建の最終審議が終り、有松を111番目の重伝建保存地区に決定したとの連絡を頂き、なが年にわたる我々の悲願がやっと達成でき、喜び一杯で御座います。

「有松まちづくりの会」と致しましては、名古屋市行政のご指導によりこの数年間毎月会議を重ね住民の皆様と対話し、ご理解を頂き、伝建制度導入に約85%の同意に感謝致して居ります。

有松の町は、開村400年を過ぎ今も立派に町の歴史・文化を守り続けて居ますが、重伝建の選定はその町の今迄の文化財に対しての概念を大きく広げ、変化させて行くことと思います。

我々は、この選定を有松の歴史の中で大切な折り返し地点として、今後の「住民の住み良い町」を目指していく覚悟で御座います。

②総会開かれる（5月11日）

<開会挨拶 服部会長>

『40数年前に発足した当会の願いである伝統的建造物群保存地区の名古屋市の指定が今年2月に行なわれ、近々国の重伝建の選定が得られる状況となりました。

今後は、地区内の建物の文化財登録、（町並み相談会を通じて）景観の保存・向上、防災対策などを、他地区も参考に、進めていきたい。』と話されました。

<平成28年度 基本方針と重点事業>

○本物の歴史と伝統が継承されるまちづくり・町並み保存活動を中心に置き、その活動を発信する。

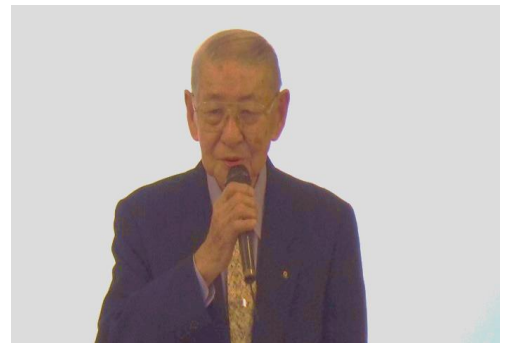
○建物の修復・改築・空き家活用等について、地域住民と「有松町並み相談会」を通して話し合いを進めるとともに、名古屋市と連携しながら地域防災（耐震化の推進・地域防火）等への相談活動を拡大する。

○名古屋市の「北の名古屋城、南の有松・桶狭間」観光情報発信に協力し、観光拠点の整備を図る。

○重伝建選定を記念する祝賀事業を、名古屋市・地域住民・諸団体と協力して実施する。

<来賓挨拶 柵木緑区長、松田歴史まちづくり推進室長、上田観光推進室長>

- ・名古屋市は「北の名古屋城、南の有松・桶狭間」を新たな観光拠点にする。
- ・将来を見据えた有松・桶狭間観光戦略の策定に対して、地元の協力をお願いしたい。
- ・観光案内所の充実を図りたい。
- ・有松・桶狭間の観光資源の発信を行う。



開会挨拶する服部会長

③講演会開かれる（5月11日）

「有松らしいイメージの創出」と題して、元名古屋市文化財調査委員の畔柳武司氏（21世紀有松まちづくりビジョン策定委員）からお話を聞きました。

重伝建選定後は、有松町並み保存地区一帯をエコミュージアム（生活・環境博物館）ととらえ、この考えを活用したらどうかとの提案を受けました。

すなわち、有松の歴史・文化・自然や社会環境の成り立ちを探り、地域に点在する様々な記憶・技術・遺産を現地において保存し、展示することがエコミュージアムです。

町並み保存地区にある色々な価値ある物を、そのまま展示し、発信する考えは大変おもしろく思われました。



畔柳 武司氏

④日本弁護士連合会との意見交換会開かれる（5月21日）

重伝建選定の翌日、日弁連との意見交換会「有松のこれからを考える会」が竹田邸3番蔵で開かれました。

有松の取り組みの紹介後、日弁連から関東の川越、関西の京都の取り組みの報告があり、意見交換が行われました。

- ・歴史的価値のある建物は、文化財登録をした方がいい。
- ・路地裏の価値の発見と発信が今後必要になる。
- ・町並み保存には、経済の活性化が必要である。
- ・税（地価税・相続税等）負担軽減の勉強が必要である。
- ・行政への建築手続きに、地域協議会等の意見に対する法的担保を付けるとよい。



有松側の説明を聞く日弁連の皆様

○ 重伝建推進委員会（5月23日）

5月20日、文化財保護審議会の答申で、有松の町並みが重伝建保存地区の選定を受け、その告知活動や祝賀行事について話し合われました。

○「有松の町並み 重要伝統的建造物群保存地区 に選定」の懸垂幕・横断幕を設置（緑区役所、絞会館、有松駅改札口前）

○祝賀事業試案（今後実施について資金も含め検討します）

- ・趣味・サークルの祝賀競演会（10月1日）
- ・祝賀夜祭り：日本舞踊、漫才・狂言、囃子込、提灯行列など（10月1日）
- ・記念植樹（10月1日、ありまつ公園）
- ・記念式典・シンポジウム（10月2日、名古屋市主催）
- ・文化財に指定されている建物のライトアップ

○その他の事業

- ・会報「有松」特別号の発行
- ・ホームページに「重伝建選定」の掲載
- ・参加イベント時に「有松の町並み 重要伝統的建造物群保存地区 に選定」をPR

○ 有松桶狭間観光振興協議会 (5月24日)

①桶狭間の戦い再現イベント開催決定 (6月12日、観光推進室)

名古屋市南部有松・桶狭間の観光情報発信事業の第1弾として、日本史上名高い「桶狭間の戦い」を効果的にPRする再現イベントを行ないます。

1. 清州城からの突然の出撃(幸若舞、湯漬け、馬での出陣、4:00～)
2. 熱田神宮での戦勝祈願(信長公と家臣の戦勝祈願、8:00～)
3. 桶狭間の戦略的奇襲(両軍の攻防、義元打ち取り、勝鬨、10:00～)

②観光戦略策定ワーキングメンバー決まる (5月12日)

名古屋市南部有松・桶狭間の観光情報発信事業の1つとして、観光推進室が進める10年先を見据えた「有松・桶狭間観光戦略」を検討するワーキンググループに地元から参加するメンバーが決まりました。メンバーは、有松・桶狭間の各団体からの推薦を受けた人になっています。

○ 桶狭間古戦場まつり開かれる (5月15日)

桶狭間太鼓の音で今年も古戦場まつりが開幕しました。

慰霊祭が公職者および関係者をお招きして、義元公墓の前で開かれました。今年は豊明市の関係者も出席し、ゆるキャラの「のぶながくん」と「よしもとくん」も慰霊祭に出席し、頭を下げていました。

古戦場公園会場からベロタクシーに乗り、大池の横を通り、ふれあい広場に行くと屋台村があり、飲食物を買い、ステージでの催事を楽しむ人が多くいました。



「のぶながくん」と「よしもとくん」

○講演会

今年は長福寺の名誉住職および現住職が「桶狭間の戦いと長福寺」と題して講演を行いました。

<名誉住職 小山 栄静 氏>

- ・信長は、築田政剛を中心に蜂須賀小六・生駒・前野などに今川勢の動きを逐一報告させ、進軍・攻撃などが出来たのが大きな勝因であったと思われる。(武功夜話)
- ・進軍経路について、3ルートのお話をされました。
- ・織田軍は、義元隊(西の巻山・北西の幕山・高根山)を回潜(かいくぐ)って、義元本陣を突く。
- ・境内には、桶狭間合戦供養塔、血刀濯(すす)ぎの池がある。



小山 栄静 氏

<住職 小山 昌純 氏 : 長福寺所蔵の品々の紹介>

- ・住職と村人代表等が「この地に休みたる今川義元本陣に酒・肴を献上」の記録が有る。
- ・今川義元位牌: 戦いの直後に権力者が造った位牌と思われる。戒名に神儀(国主級)とある。
- ・今川義元像(木像 1714年)。戦いで戦死した渡邊玄蕃の末裔が寄進。
- ・松井宗信像(木像 1849年)。松井宗信の末裔が寄進したもの。
- ・戦死者の位牌: 今川方の戦死者数2753名が記載されている。(遺体埋葬を長福寺がしたか)

○ 町美運動実施（5月22日）

有松学区全域で「春の学区一斉町美運動」が実施され、自宅周りの草刈り・ゴミの片付け、側溝の土・泥上げなどが行われました。

当日は、晴天で暑くもあり、皆様は9時以前から町美の活動をされ、9時半頃にはほとんどの地区では終了していました。その結果、学区内で回収されたごみは、可燃ごみは約1700袋、土・泥は200土嚢袋が出されました。

皆様暑い中、町を綺麗にする活動に参加され、ご苦労でした。



町内の町美活動風景

○ ホームページ「有松のまち」情報

①町屋の紹介に英文を追加（「まちの紹介」→「町屋の紹介」）

- ・小塚家、岡家、竹田家等の説明文に英文を追加掲載

②有松山車まつりの動画を掲載（「有松の行事」→「10月の有松山車まつり」）

- ・祭り前日の「献灯祭」から当日「二車わかれの儀」までの各行事の動画を掲載

③有松天満社の作法と奉納物の説明掲載（「まちの紹介」→「山車と有松天満社」）

- ・作法：鳥居のくぐり方、手洗いの仕方、拝礼の仕方など
- ・奉納物：天神さまと臥牛、天満社と梅、天満社と鶯（うそ）など

④貸家・貸店舗情報

- ・掲載の西竹家は、売却が確定となったため、削除。
- ・現在掲載物件が無く、貸家・貸店舗掲載希望者はご連絡ください。（町並み保存地区内のみ）

○ 催事・行事の予定

- ・6月4・5日 09:00 第32回 有松絞りまつり 有松東海道一带 有松絞りまつり実行委員会
- ・6月08日（水） 13:00 「留学生と有松で再発見」④「留学生と暮らしてみた体験を聞く」MADO
- ・6月12日（日） 10:00 桶狭間の戦い再現劇 桶狭間古戦場公園 名古屋市観光推進室
- ・6月19日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・6月21日（火） 09:00 有松あないびとの会 研修旅行（関ヶ原、大垣）
- ・6月26日（日） 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・6月27日（月） 18:00 重伝建推進委員会 コミセン 歴史まちづくり推進室・有松まちづくりの会
- 〃 19:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・6月28日（火） 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 校会館

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索